



平成24年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年8月9日

上場会社名 ロート製薬株式会社

コード番号 4527 URL <http://www.rohto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉野 俊昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長

(氏名) 斉藤 雅也

TEL 06-6758-1211

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	25,901	5.8	2,687	32.5	2,986	29.4	1,987	51.6
23年3月期第1四半期	24,492	3.5	2,028	29.4	2,308	25.1	1,311	28.8

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,534百万円 (81.5%) 23年3月期第1四半期 845百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	16.91	16.83
23年3月期第1四半期	11.15	11.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	123,678	78,543	62.8
23年3月期	126,472	77,911	60.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 77,684百万円 23年3月期 77,076百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	54,500	3.7	5,900	10.3	6,100	9.1	3,700	2.6	31.47
通期	117,000	1.3	13,300	1.5	13,500	1.6	8,200	2.9	69.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
(注) 詳細は、四半期決算短信[添付資料]P.3「サマリー情報(その他)に関する情報」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 以外の会計方針の変更： 無
 会計上の見積りの変更： 無
 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)				
期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	117,907,528 株	23年3月期	117,907,528 株
期末自己株式数	24年3月期1Q	329,159 株	23年3月期	329,159 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	117,578,369 株	23年3月期1Q	117,585,253 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]P.2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、円高の進行やデフレに加え、平成23年3月に発生した東日本大震災により企業活動や消費マインドが低下したこともあり、先行きの景況感が極めて不透明なまま推移いたしました。また、海外におきましては、中国や新興国の景気拡大に牽引され、穏やかながらも回復傾向が続いたものの、欧州における財政危機の影響や、米国での失業率の高止まりなどにより、経済の回復は停滞した状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは顧客志向の新製品開発やマーケティング活動により新規分野への展開を図るとともに、既存分野におきましても高付加価値の製品を開発し市場の活性化に努めてまいりました。

売上高につきましては、日本では、東日本大震災の影響により経済活動に停滞が見られたものの、消費者がより費用対効果を重視する購買行動に変化したことにより、「肌研（ハダラボ）」などのビューティー関連品が好調に推移いたしました。また、節電志向を反映して、超清涼感の定番目薬「ロートジー」や激爽感が特長の男性用化粧品「オキシー」などが好調であったことに加え、日焼け止めなど盛夏関連品も順調に推移いたしました。

海外では、アメリカが円高による為替換算の影響を受け減収となりましたが、ヨーロッパにつきましては、中央ヨーロッパ、中東、アフリカ向けの輸出が堅調に推移し増収となりました。成長の牽引役でありますアジアにおきましては、中国をはじめアジアへの積極展開を進めている「肌研（ハダラボ）」、日焼け止め「サンブレイ」、ニキビ用剤「アクネス」などのスキンケア関連が好調に推移いたしました。特に、昨年中国でやや苦戦した男性用化粧品は全面リニューアルした結果、好調に推移しております。また、スキンケア関連に加え目薬も堅調であったことにより、大幅な増収となりました。

その結果、売上高は259億1百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

利益面につきましては、売上が堅調に推移したことに加え販管費及び一般管理費の効率的活用に努めました結果、営業利益は26億8千7百万円（同32.5%増）、経常利益は29億8千6百万円（同29.4%増）、四半期純利益は19億8千7百万円（同51.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は1,236億7千8百万円となり、前連結会計年度末より27億9千3百万円減少しました。これは、有形固定資産が19億4千5百万円、現金及び預金が9億7千6百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が72億4千5百万円減少したこと等によるものであります。

負債総額は451億3千5百万円となり、前連結会計年度末より34億2千5百万円減少しました。これは、支払手形及び買掛金が12億3千5百万円、短期借入金が10億9千1百万円増加した一方、未払法人税等が21億4千7百万円、流動負債のその他が21億2千6百万円、賞与引当金が10億4千5百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては785億4千3百万円となり、前連結会計年度末より6億3千1百万円増加しました。これは、その他有価証券評価差額金が3億3千7百万円、為替換算調整勘定が1億5百万円減少した一方、利益剰余金が10億4千7百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の連結業績は、おおむね計画通りに推移しているため、前回公表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は変更しておりません。

上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、
税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,106	15,082
受取手形及び売掛金	29,859	22,614
有価証券	5	5
商品及び製品	10,133	10,763
仕掛品	926	1,112
原材料及び貯蔵品	5,277	5,818
その他	4,932	5,562
貸倒引当金	137	133
流動資産合計	65,102	60,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,029	16,858
機械装置及び運搬具(純額)	6,795	7,085
その他(純額)	15,602	17,429
有形固定資産合計	39,427	41,373
無形固定資産		
のれん	1,150	1,102
その他	1,342	1,284
無形固定資産合計	2,492	2,387
投資その他の資産		
投資有価証券	15,345	14,945
その他	4,176	4,253
貸倒引当金	72	105
投資その他の資産合計	19,449	19,093
固定資産合計	61,370	62,853
資産合計	126,472	123,678
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,121	10,356
短期借入金	3,199	4,290
未払法人税等	3,587	1,439
賞与引当金	1,885	839
役員賞与引当金	24	7
返品調整引当金	831	683
売上割戻引当金	2,437	1,483
その他	20,657	18,530
流動負債合計	41,743	37,630

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (平成23年6月30日)
固定負債		
長期借入金	2,716	3,657
退職給付引当金	1,411	1,430
役員退職慰労引当金	101	69
その他	2,587	2,347
固定負債合計	6,817	7,504
負債合計	48,561	45,135
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,398	6,398
資本剰余金	5,517	5,517
利益剰余金	67,511	68,558
自己株式	268	268
株主資本合計	79,159	80,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,179	2,841
為替換算調整勘定	4,953	5,059
在外子会社の年金債務調整額	309	304
その他の包括利益累計額合計	2,083	2,522
新株予約権	593	593
少数株主持分	241	264
純資産合計	77,911	78,543
負債純資産合計	126,472	123,678

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 1 四半期連結累計期間

(単位 : 百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
売上高	24,492	25,901
売上原価	10,763	11,165
売上総利益	13,728	14,735
返品調整引当金戻入額	21	148
差引売上総利益	13,749	14,883
販売費及び一般管理費	11,721	12,196
営業利益	2,028	2,687
営業外収益		
受取利息	16	18
受取配当金	283	261
持分法による投資利益	33	16
その他	38	86
営業外収益合計	372	382
営業外費用		
支払利息	76	55
その他	15	27
営業外費用合計	92	82
経常利益	2,308	2,986
特別利益		
特許関連収入	-	281
特別利益合計	-	281
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	30	-
貸倒引当金繰入額	-	35
特別損失合計	30	35
税金等調整前四半期純利益	2,277	3,233
法人税等	963	1,244
少数株主損益調整前四半期純利益	1,314	1,989
少数株主利益	2	1
四半期純利益	1,311	1,987

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,314	1,989
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	625	337
為替換算調整勘定	158	122
在外子会社の年金債務調整額	1	4
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	468	455
四半期包括利益	845	1,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	841	1,549
少数株主に係る四半期包括利益	3	15

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	18,639	1,449	967	3,155	24,212	280	24,492	—	24,492
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	329	112	—	0	443	—	443	443	—
計	18,969	1,562	967	3,155	24,655	280	24,935	443	24,492
セグメント利益 又は損失()	1,898	277	83	37	1,742	10	1,731	296	2,028

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益又は損失()の調整額296百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	18,798	1,343	1,047	4,343	25,532	368	25,901	—	25,901
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	369	194	1	221	785	3	789	789	—
計	19,167	1,537	1,048	4,564	26,318	371	26,690	789	25,901
セグメント利益 又は損失()	2,145	150	77	566	2,638	3	2,642	44	2,687

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益又は損失()の調整額44百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。